

洗足学園音楽大学 音楽学部

2018年度 カリキュラムマップ

<凡例>

専門必修科目

専門選択科目(各コース)

専門選択科目(全コース共通)

教養科目

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。
 - ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。
 - ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

作曲コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
作曲技法研究Ⅰ	○	○			○	3			○			
作曲技法研究Ⅱ	○	○			○	3				○		
作曲技法研究Ⅲ	○	○			○	3					○	
作曲技法研究Ⅳ	○	○			○	3						○
作曲理論研究Ⅰ	○	○			○	3			○			
作曲理論研究Ⅱ	○	○			○	3				○		
作曲理論研究Ⅲ	○	○			○	3					○	
作曲理論研究Ⅳ	○	○			○	3						○
管弦楽法	○	○			○			4			○	
楽曲分析研究Ⅰ	○	○			○			2			○	
楽曲分析研究Ⅱ	○	○			○			2			○	
浄書と音源の制作	○	○			○			4	○			
歌曲作曲研究Ⅰ	○	○			○			2	○			
歌曲作曲研究Ⅱ	○	○			○			2	○			
合唱曲作曲研究	○	○			○			2		○		
音階研究	○	○			○			2		○		
20世紀の和声法研究	○	○			○			2			○	
20世紀の奏法研究	○	○			○			2			○	
20世紀の作曲技法Ⅰ	○	○			○			2			○	
20世紀の作曲技法Ⅱ	○	○			○			2			○	
DAW演習Ⅰ	○		○					2	○			
音楽プログラミング入門	○	○			○			4	○			
Max/MSP演習	○	○			○			2		○		
コンピュータ音楽表現	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー1	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー2	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー3	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー4	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー5	○	○			○			2			○	
ジャズハーモニー6	○	○			○			2			○	
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究Ⅰ	○	○			○			4		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。
 - ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。
 - ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

作曲コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
音楽実技実習1	○		○					2	○			
音楽実技実習2	○		○					2		○		
音楽実技実習3	○		○					2			○	
音楽実技実習4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。
 - ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。
 - ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

作曲コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。
 - ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。
 - ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

作曲コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。
 - ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。
 - ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

作曲コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。
 - ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。
 - ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

作曲コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
伊語1-I		○			○			2	○			
伊語1-II		○			○			2	○			
伊語2-I		○			○			2		○		
伊語2-II		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学 I		○			○			2	○			
経済学 II		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダー I		○			○			2	○			
ジェンダー II		○			○			2	○			
心理学 I		○			○			2	○			
心理学 II		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
創作技法研究Ⅰ	○	○			○		6		○			
創作技法共同研究Ⅰ	○		○		○		6		○			
創作技法研究Ⅱ	○	○			○		6			○		
創作技法共同研究Ⅱ	○		○		○		6			○		
創作技法研究Ⅲ	○	○			○		6				○	
創作技法共同研究Ⅲ	○		○		○		6				○	
創作技法研究Ⅳ	○	○			○		6					○
創作技法共同研究Ⅳ	○		○		○		6					○
管弦楽法	○	○			○			4			○	
アドバンスト・サポート・レッスン1	○		○					4	○			
アドバンスト・サポート・レッスン2	○		○					4		○		
アドバンスト・サポート・レッスン3	○		○					4			○	
アドバンスト・サポート・レッスン4	○		○					4				○
ポピュラーミュージック・ハーモニーⅠ	○		○		○			2		○		
ポピュラーミュージック・ハーモニーⅡ	○		○		○			2		○		
アドバンスト・ハーモニー	○		○		○			4			○	
コンテンポラリー・ハーモニー	○		○		○			4				○
DAW演習Ⅰ	○		○					2	○			
DAW演習ⅡA	○		○					2		○		
DAW演習ⅡB	○		○					2		○		
DAW演習ⅡC	○		○					2		○		
ProTools 演習	○		○					2		○		
リズムセクション・ライティング	○	○			○			4	○			
アドバンスト・アレンジングテクニックA	○	○			○			4		○		
アドバンスト・アレンジングテクニックB	○	○			○			4		○		
音楽プログラミング入門	○	○			○			4	○			
オーケストラ・ライティング	○	○			○			4			○	
WEBデザイン実習	○	○			○			2	○			
Max/MSP演習	○	○			○			2		○		
コンピュータ音楽表現	○	○			○			2		○		
スタジオレコーディング演習1	○		○					2	○			
スタジオレコーディング演習2	○		○					2		○		
スタジオレコーディング演習3	○		○					2			○	
スタジオレコーディング演習4	○		○					2				○
サウンドエンジニアリング基礎理論	○	○			○			4	○			
サウンドエンジニアリング応用理論	○	○			○			4		○		
音響空間エレクトロニクス1	○	○	○					4	○			
音響空間エレクトロニクス2	○	○	○					4		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音響空間エレクトロニクス3	○	○	○					4			○	
音響空間エレクトロニクス4	○	○	○					4				○
プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション1	○	○	○					1	○			
プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション2	○	○	○					1		○		
プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション3	○	○	○					1			○	
プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション4	○	○	○					1				○
録音技術研究 1	○	○	○					2	○			
録音技術研究 2	○	○	○					2		○		
録音技術研究 3	○	○	○					2			○	
録音技術研究 4	○	○	○					2				○
メディアコンテンツ制作実習 1	○	○	○					2	○			
メディアコンテンツ制作実習 2	○	○	○					2		○		
メディアコンテンツ制作実習 3	○	○	○					2			○	
メディアコンテンツ制作実習 4	○	○	○					2				○
映画音楽作曲技法	○	○			○			4		○		
テクノパフォーマンス研究 2	○		○	○				2		○		
テクノパフォーマンス研究 3	○		○	○				2			○	
テクノパフォーマンス研究 4	○		○	○				2				○
ワイヤリング研究	○		○	○				2		○		
スタジオエレクトロニクス	○		○	○				4			○	
アニメーション・ミュージック研究	○	○			○			2				○
作編曲入門	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー1	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー2	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー3	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー4	○	○			○			2		○		
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
R&P・ヒストリー	○	○			○			4	○			
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論 I		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
独語2-I		○			○			2		○		
独語2-II		○			○			2		○		
仏語1-I		○			○			2	○			
仏語1-II		○			○			2	○			
仏語2-I		○			○			2		○		
仏語2-II		○			○			2		○		
伊語1-I		○			○			2	○			
伊語1-II		○			○			2	○			
伊語2-I		○			○			2		○		
伊語2-II		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。
 - ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。
 - ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽・音響デザインコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ピアノ奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
ピアノ奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
ピアノ奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
ピアノ奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
浄書と音源の制作	○	○			○			4	○			
歌曲作曲研究Ⅰ	○	○			○			2	○			
歌曲作曲研究Ⅱ	○	○			○			2	○			
合唱曲作曲研究	○	○			○			2		○		
音階研究	○	○			○			2		○		
20世紀の和声法研究	○	○			○			2			○	
20世紀の奏法研究	○	○			○			2			○	
20世紀の作曲技法Ⅰ	○	○			○			2			○	
20世紀の作曲技法Ⅱ	○	○			○			2			○	
二重奏Ⅰ	○	○	○					2	○			
二重奏Ⅱ	○	○	○					2		○		
初見視奏Ⅰ	○	○	○					1	○			
初見視奏Ⅱ	○	○	○					1	○			
初見視奏Ⅲ	○	○	○					1		○		
初見視奏Ⅳ	○	○	○					1		○		
歌曲伴奏法Ⅰ	○	○	○					1	○			
歌曲伴奏法Ⅱ	○	○	○					1	○			
器楽曲伴奏法Ⅰー1	○	○	○					1	○			
器楽曲伴奏法Ⅰー2	○	○	○					1	○			
器楽曲伴奏法Ⅱー1	○	○	○					1		○		
器楽曲伴奏法Ⅱー2	○	○	○					1		○		
ピアノ音楽講座	○	○			○			4	○			
音楽教室グレード対策講座Ⅰ	○	○			○			4		○		
音楽教室グレード対策講座Ⅱ	○	○			○			4			○	
ピアノ指導法Ⅰ	○	○	○					2		○		
ピアノ指導法Ⅱ	○	○	○					2			○	
チェンバロ実習1	○		○					2			○	
チェンバロ実習2	○		○					2				○
ピアノ音楽鑑賞研究	○	○			○			4	○			
リズムパフォーマンス	○	○	○					4	○			
管弦楽内ピアノ奏法研究1	○	○	○					2	○			
管弦楽内ピアノ奏法研究2	○	○	○					2		○		
管弦楽内ピアノ奏法研究3	○	○	○					2			○	
管弦楽内ピアノ奏法研究4	○	○	○					2				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ)2	○	○	○					2		○		
ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ)3	○	○	○					2			○	
ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ)4	○	○	○					2				○
作曲基礎研究 1	○	○			○			4	○			
作曲基礎研究 2	○	○			○			4		○		
作曲基礎研究 3	○	○			○			4			○	
作曲基礎研究 4	○	○			○			4				○
ピアノ作曲基礎演習 1	○	○			○			2	○			
ピアノ作曲基礎演習 2	○	○			○			2		○		
ピアノ作曲基礎演習 3	○	○			○			2			○	
ピアノ作曲基礎演習 4	○	○			○			2				○
キーボードレアリゼーション 1	○		○		○			2	○			
キーボードレアリゼーション 2	○		○		○			2		○		
キーボードレアリゼーション 3	○		○		○			2			○	
キーボードレアリゼーション 4	○		○		○			2				○
ピアノ作品分析演奏法 1	○		○		○			2	○			
ピアノ作品分析演奏法 2	○		○		○			2		○		
ピアノ作品分析演奏法 3	○		○		○			2			○	
ピアノ作品分析演奏法 4	○		○		○			2				○
指導法研究1-I	○	○	○					2			○	
指導法研究1-II	○	○	○					2			○	
指導法研究2-I	○	○	○					2				○
指導法研究2-II	○	○	○					2				○
ポピュラーミュージック研究1-I	○	○	○					2			○	
ポピュラーミュージック研究1-II	○	○	○					2			○	
ポピュラーミュージック研究2-I	○	○	○					2				○
ポピュラーミュージック研究2-II	○	○	○					2				○
アンサンブル奏法研究1-I	○	○	○					2			○	
アンサンブル奏法研究1-II	○	○	○					2			○	
アンサンブル奏法研究2-I	○	○	○					2				○
アンサンブル奏法研究2-II	○	○	○					2				○
ピアノ奏法特殊研究1	○	○	○					4	○			
ピアノ奏法特殊研究2	○	○	○					4		○		
ピアノ奏法特殊研究3	○	○	○					4			○	
ピアノ奏法特殊研究4	○	○	○					4				○
応用キーボードソルフェージュ	○	○			○			4	○			
コミュニケーション&セルフマネジメント・スタディ	○	○			○			4	○			
身体向上メソッド	○	○			○			4	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
室内楽研究2	○		○	○				2		○		
室内楽研究3	○		○	○				2			○	
室内楽研究4	○		○	○				2				○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ピアノコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択 必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
管楽器奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
管楽器奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
管楽器奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
管楽器奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
吹奏楽研究1	○		○	○				4	○			
吹奏楽研究2	○		○	○				4		○		
吹奏楽研究3	○		○	○				4			○	
吹奏楽研究4	○		○	○				4				○
オーケストラ研究1-1	○		○	○				4	○			
オーケストラ研究1-2	○		○	○				4		○		
オーケストラ研究1-3	○		○	○				4			○	
オーケストラ研究1-4	○		○	○				4				○
オーケストラ研究2-1	○		○	○				4	○			
オーケストラ研究2-2	○		○	○				4		○		
オーケストラ研究2-3	○		○	○				4			○	
オーケストラ研究2-4	○		○	○				4				○
フルートオーケストラ1	○		○	○				4	○			
フルートオーケストラ2	○		○	○				4		○		
フルートオーケストラ3	○		○	○				4			○	
フルートオーケストラ4	○		○	○				4				○
サクソオーケストラ1	○		○	○				4	○			
サクソオーケストラ2	○		○	○				4		○		
サクソオーケストラ3	○		○	○				4			○	
サクソオーケストラ4	○		○	○				4				○
室内楽研究1	○		○	○				2	○			
室内楽研究2	○		○	○				2		○		
室内楽研究3	○		○	○				2			○	
室内楽研究4	○		○	○				2				○
ブリティッシュブラス1	○		○	○				4	○			
ブリティッシュブラス2	○		○	○				4		○		
ブリティッシュブラス3	○		○	○				4			○	
ブリティッシュブラス4	○		○	○				4				○
ファンファーレオーケスト1	○		○	○				4	○			
ファンファーレオーケスト2	○		○	○				4		○		
ファンファーレオーケスト3	○		○	○				4			○	
ファンファーレオーケスト4	○		○	○				4				○
吹奏楽指導法1	○		○	○				4	○			
吹奏楽指導法2	○		○	○				4		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
吹奏楽指導法3	○		○	○				4			○	
吹奏楽指導法4	○		○	○				4				○
マーチングディレクター概論1	○		○	○				4	○			
マーチングディレクター概論2	○		○	○				4		○		
マーチングディレクター概論3	○		○	○				4			○	
マーチングディレクター概論4	○		○	○				4				○
管打合奏1	○		○	○				2	○			
管打合奏2	○		○	○				2		○		
管打合奏3	○		○	○				2			○	
管打合奏4	○		○	○				2				○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
音楽科教育法Ⅰ	○			○	○			2	○			
音楽科教育法Ⅱ	○			○	○			2		○		
音楽科教育法Ⅲ	○			○	○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽科教育法Ⅳ	○			○	○			2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

管楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
弦楽器奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
弦楽器奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
弦楽器奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
弦楽器奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ)2	○	○	○					2		○		
ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ)3	○	○	○					2			○	
ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ)4	○	○	○					2				○
吹奏楽研究1	○		○	○				4	○			
吹奏楽研究2	○		○	○				4		○		
吹奏楽研究3	○		○	○				4			○	
吹奏楽研究4	○		○	○				4				○
オーケストラ研究1-1	○		○	○				4	○			
オーケストラ研究1-2	○		○	○				4		○		
オーケストラ研究1-3	○		○	○				4			○	
オーケストラ研究1-4	○		○	○				4				○
オーケストラ研究2-1	○		○	○				4	○			
オーケストラ研究2-2	○		○	○				4		○		
オーケストラ研究2-3	○		○	○				4			○	
オーケストラ研究2-4	○		○	○				4				○
室内楽研究1	○		○	○				2	○			
室内楽研究2	○		○	○				2		○		
室内楽研究3	○		○	○				2			○	
室内楽研究4	○		○	○				2				○
弦楽合奏1	○		○	○				4	○			
弦楽合奏2	○		○	○				4		○		
弦楽合奏3	○		○	○				4			○	
弦楽合奏4	○		○	○				4				○
ヴィオラ実習1-1	○		○					1	○			
ヴィオラ実習1-2	○		○					1	○			
ヴィオラ実習2-1	○		○					1		○		
ヴィオラ実習2-2	○		○					1		○		
ヴィオラ実習3-1	○		○					1			○	
ヴィオラ実習3-2	○		○					1			○	
ヴィオラ実習4-1	○		○					1				○
ヴィオラ実習4-2	○		○					1				○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTP演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

弦楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択 必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
打楽器奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
打楽器奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
打楽器奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
打楽器奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
吹奏楽研究1	○		○	○				4	○			
吹奏楽研究2	○		○	○				4		○		
吹奏楽研究3	○		○	○				4			○	
吹奏楽研究4	○		○	○				4				○
オーケストラ研究1-1	○		○	○				4	○			
オーケストラ研究1-2	○		○	○				4		○		
オーケストラ研究1-3	○		○	○				4			○	
オーケストラ研究1-4	○		○	○				4				○
オーケストラ研究2-1	○		○	○				4	○			
オーケストラ研究2-2	○		○	○				4		○		
オーケストラ研究2-3	○		○	○				4			○	
オーケストラ研究2-4	○		○	○				4				○
フルートオーケストラ1	○		○	○				4	○			
フルートオーケストラ2	○		○	○				4		○		
フルートオーケストラ3	○		○	○				4			○	
フルートオーケストラ4	○		○	○				4				○
サクソオーケストラ1	○		○	○				4	○			
サクソオーケストラ2	○		○	○				4		○		
サクソオーケストラ3	○		○	○				4			○	
サクソオーケストラ4	○		○	○				4				○
室内楽研究1	○		○	○				2	○			
室内楽研究2	○		○	○				2		○		
室内楽研究3	○		○	○				2			○	
室内楽研究4	○		○	○				2				○
ブリティッシュブラス1	○		○	○				4	○			
ブリティッシュブラス2	○		○	○				4		○		
ブリティッシュブラス3	○		○	○				4			○	
ブリティッシュブラス4	○		○	○				4				○
ファンファーレオーケスト1	○		○	○				4	○			
ファンファーレオーケスト2	○		○	○				4		○		
ファンファーレオーケスト3	○		○	○				4			○	
ファンファーレオーケスト4	○		○	○				4				○
吹奏楽指導法1	○		○	○				4	○			
吹奏楽指導法2	○		○	○				4		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
吹奏楽指導法3	○		○	○				4			○	
吹奏楽指導法4	○		○	○				4				○
マーチングディレクター概論1	○		○	○				4	○			
マーチングディレクター概論2	○		○	○				4		○		
マーチングディレクター概論3	○		○	○				4			○	
マーチングディレクター概論4	○		○	○				4				○
管打合奏1	○		○	○				2	○			
管打合奏2	○		○	○				2		○		
管打合奏3	○		○	○				2			○	
管打合奏4	○		○	○				2				○
打楽器アンサンブル1	○		○	○				4	○			
打楽器アンサンブル2	○		○	○				4		○		
打楽器アンサンブル3	○		○	○				4			○	
打楽器アンサンブル4	○		○	○				4				○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。
 - ・音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。
 - ・独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

打楽器コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
電子オルガン奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
電子オルガン奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
電子オルガン奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
電子オルガン奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
ピアノ実技1	○		○					2	○			
ピアノ実技2	○		○					2		○		
ピアノ実技3	○		○					2			○	
ピアノ実技4	○		○					2				○
室内楽研究2	○		○	○				2		○		
室内楽研究3	○		○	○				2			○	
室内楽研究4	○		○	○				2				○
指導グレードマスター講座1	○	○	○					4	○			
指導グレードマスター講座2	○	○	○					4		○		
指導グレードマスター講座3	○	○	○					4			○	
指導グレードマスター講座4	○	○	○					4				○
オーケストラ演習1	○		○	○				2	○			
オーケストラ演習2	○		○	○				4		○		
オーケストラ演習3	○		○	○				4			○	
オーケストラ演習4	○		○	○				4				○
創作演習	○	○			○			2		○		
編曲演習	○	○			○			2	○			
ポピュラー奏法研究1	○	○	○					2	○			
ポピュラー奏法研究2	○	○	○					2		○		
電子オルガン・スタジオエレクトロニクス	○	○	○					2	○			
電子オルガン演奏法1	○	○	○					2	○			
電子オルガン演奏法2	○	○	○					2		○		
演奏グレードマスター講座1	○	○	○					4	○			
演奏グレードマスター講座2	○	○	○					4		○		
演奏グレードマスター講座3	○	○	○					4			○	
演奏グレードマスター講座4	○	○	○					4				○
オーケストレーション	○	○			○			2	○			
パイプオルガン実習	○		○					2			○	
ポピュラー奏法特別研究1	○		○	○				2	○			
ポピュラー奏法特別研究2	○		○	○				2		○		
ポピュラー奏法特別研究3	○		○	○				2			○	
ポピュラー奏法特別研究4	○		○	○				2				○
アンサンブル／ラボ3-1	○		○	○				1			○	
アンサンブル／ラボ3-2	○		○	○				1			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
アンサンブル／ラボ4-1	○		○	○				1				○
アンサンブル／ラボ4-2	○		○	○				1				○
ジャズハーモニー1	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー2	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー3	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー4	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー5	○	○			○			2			○	
ジャズハーモニー6	○	○			○			2			○	
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
R&P・ヒストリー	○	○			○			4	○			
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
教職ピアノ実習1-Ⅱ			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。
 - ・様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

電子オルガンコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択 必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ジャズ奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
ジャズ奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
ジャズ奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
ジャズ奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
ミュージシャンのための英語1	○	○			○			2	○			
ミュージシャンのための英語2	○	○			○			2	○			
アンサンブル/ラボ1-1	○		○	○				1	○			
アンサンブル/ラボ1-2	○		○	○				1	○			
アンサンブル/ラボ2-1	○		○	○				1		○		
アンサンブル/ラボ2-2	○		○	○				1		○		
アンサンブル/ラボ3-1	○		○	○				1			○	
アンサンブル/ラボ3-2	○		○	○				1			○	
アンサンブル/ラボ4-1	○		○	○				1				○
アンサンブル/ラボ4-2	○		○	○				1				○
特別アンサンブル/ラボ1	○		○	○				1	○			
特別アンサンブル/ラボ2	○		○	○				1	○			
特別アンサンブル/ラボ3	○		○	○				1		○		
特別アンサンブル/ラボ4	○		○	○				1		○		
特別アンサンブル/ラボ5	○		○	○				1			○	
特別アンサンブル/ラボ6	○		○	○				1			○	
特別アンサンブル/ラボ7	○		○	○				1				○
特別アンサンブル/ラボ8	○		○	○				1				○
ジャズハーモニー1	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー2	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー3	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー4	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー5	○	○			○			2			○	
ジャズハーモニー6	○	○			○			2			○	
ヴォイスिंग&オーケストレーション1	○	○			○			2	○			
ヴォイスिंग&オーケストレーション2	○	○			○			2		○		
ヴォイスिंग&オーケストレーション3	○	○			○			2		○		
ヴォイスिंग&オーケストレーション4	○	○			○			2			○	
ヴォイスिंग&オーケストレーション5	○	○			○			2			○	
ヴォイスिंग&オーケストレーション6	○	○			○			2				○
ヴォーカルパフォーマンス1	○		○					1	○			
ヴォーカルパフォーマンス2	○		○					1	○			
ヴォーカルパフォーマンス3	○		○					1		○		
ヴォーカルパフォーマンス4	○		○					1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ヴォーカルパフォーマンス5	○		○					1			○	
ヴォーカルパフォーマンス6	○		○					1			○	
ヴォーカルパフォーマンス7	○		○					1				○
ヴォーカルパフォーマンス8	○		○					1				○
ジャズ作品研究1	○	○			○			2			○	
ジャズ作品研究2	○	○			○			2				○
ジャズ・コンポジション	○	○			○			2				○
リズムミットトレーニングⅠ	○		○					1	○			
リズムミットトレーニングⅡ	○		○					1	○			
ハウトゥインプロヴァイズ	○	○	○					1	○			
ハウトゥコンボーズ	○	○	○					1	○			
インプロビゼーションテクニック	○	○	○					1		○		
ジャズフレージング入門	○	○	○					2	○			
サーヴェイ・オブ・ジャズ1	○	○			○			2	○			
サーヴェイ・オブ・ジャズ2	○	○			○			2	○			
ジャズ特別奏法研究1	○		○					1	○			
ジャズ特別奏法研究2-1	○		○					1		○		
ジャズ特別奏法研究2-2	○		○					1		○		
ジャズ特別奏法研究3-1	○		○					1			○	
ジャズ特別奏法研究3-2	○		○					1			○	
ジャズ特別奏法研究4-1	○		○					1				○
ジャズ特別奏法研究4-2	○		○					1				○
最新ジャズ事情Ⅰ	○	○			○			2	○			
スタジオ・アレンジング	○	○			○			1			○	
スタイルスタディA	○		○		○			1		○		
スタイルスタディB	○		○		○			1		○		
アレンジング1	○	○			○			2			○	
アレンジング2	○	○			○			2			○	
アレンジング3	○	○			○			2				○
アレンジング4	○	○			○			2				○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
ミュージックインリリックス1-1	○		○		○			1				
ミュージックインリリックス1-2	○		○		○			1				
リコーダーアンサンブル1	○		○					2		○		
リコーダーアンサンブル2	○		○					2			○	
リコーダーアンサンブル3	○		○					2				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。
 - ・創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。
 - ・演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ジャズコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択 必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。
 - ・独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。
 - ・日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

現代邦楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
邦楽器奏法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
邦楽器奏法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
邦楽器奏法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
邦楽器奏法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽合奏演習1	○		○	○				2	○			
邦楽合奏演習2	○		○	○				2		○		
邦楽合奏演習3	○		○	○				2			○	
邦楽合奏演習4	○		○	○				2				○
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。
 - ・独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。
 - ・日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

現代邦楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。
 - ・独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。
 - ・日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

現代邦楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。
 - ・独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。
 - ・日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

現代邦楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ－1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ－2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。
 - ・独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。
 - ・日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

現代邦楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。
 - ・独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。
 - ・日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

現代邦楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
R&P演奏技法研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
R&P演奏技法研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
R&P演奏技法研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
R&P演奏技法研究Ⅳ	○	○		○		6						○
スタジオエレクトロニクス	○		○	○				4			○	
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
バンド・ワークショップ1-1	○		○	○				1	○			
バンド・ワークショップ1-2	○		○	○				1	○			
バンド・ワークショップ2-1	○		○	○				1		○		
バンド・ワークショップ2-2	○		○	○				1		○		
アドバンスト・バンド・ワークショップ1-1	○		○	○				1			○	
アドバンスト・バンド・ワークショップ1-2	○		○	○				1			○	
アドバンスト・バンド・ワークショップ2-1	○		○	○				1				○
アドバンスト・バンド・ワークショップ2-2	○		○	○				1				○
レコーディング・セッション1-1	○		○	○				1	○			
レコーディング・セッション1-2	○		○	○				1	○			
レコーディング・セッション2-1	○		○	○				1		○		
レコーディング・セッション2-2	○		○	○				1		○		
アドバンスト・レコーディング・セッション1-1	○		○	○				1			○	
アドバンスト・レコーディング・セッション1-2	○		○	○				1			○	
アドバンスト・レコーディング・セッション2-1	○		○	○				1				○
アドバンスト・レコーディング・セッション2-2	○		○	○				1				○
R&P・ベーシックス	○	○			○			2	○			
R&P・セオリー	○	○			○			2	○			
R&P・アレンジⅠ	○	○			○			2	○			
R&P・アレンジⅡ	○	○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
R&P・アレンジⅢ	○	○			○			2		○		
R&P・アレンジⅣ	○	○			○			2			○	
R&P・ハーモニーⅠ	○	○			○			2		○		
R&P・ハーモニーⅡ	○	○			○			2		○		
DAWアレンジⅠ	○	○			○			2			○	
DAWアレンジⅡ	○	○			○			2			○	
R&P・ヒストリー	○	○			○			4	○			
作詞/作曲Ⅰ	○	○			○			2	○			
作詞/作曲Ⅱ	○	○			○			2	○			
作詞/作曲Ⅲ	○	○			○			2		○		
楽曲分析	○	○			○			2		○		
インストゥルメンツ研究	○	○			○			4		○		
ミュージック・ビジネス	○			○	○			4		○		
バーチャル・プロダクション	○			○	○			2			○	
DTM実習1	○		○		○			1	○			
DTM実習2	○		○		○			1	○			
マスタークラス・セッション1	○		○	○				2	○			
マスタークラス・セッション2	○		○	○				2		○		
マスタークラス・セッション3	○		○	○				2			○	
マスタークラス・セッション4	○		○	○				2				○
R&P・ヴォイストレーニング	○		○	○				1	○			
副科実技(R&P)1	○		○					1	○			
副科実技(R&P)2-1	○		○					1		○		
副科実技(R&P)2-2	○		○					1		○		
副科実技(R&P)3-1	○		○					1			○	
副科実技(R&P)3-2	○		○					1			○	
副科実技(R&P)4-1	○		○					1				○
副科実技(R&P)4-2	○		○					1				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。
 - ・アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。
 - ・現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ロック&ポップスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
声楽研究Ⅰ	○	○		○		6			○			
声楽研究Ⅱ	○	○		○		6				○		
声楽研究Ⅲ	○	○		○		6					○	
声楽研究Ⅳ	○	○		○		6						○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
声楽基礎演習Ⅰ-1	○		○	○				2	○			
声楽基礎演習Ⅰ-2	○		○	○				2	○			
声楽基礎演習Ⅱ-1	○		○	○				2		○		
声楽基礎演習Ⅱ-2	○		○	○				2		○		
シアターダンス1-1	○		○	○				1	○			
シアターダンス1-2	○		○	○				1	○			
シアターダンス2-1	○		○	○				1		○		
シアターダンス2-2	○		○	○				1		○		
イタリア歌曲研究1	○		○	○				2		○		
イタリア歌曲研究2	○		○	○				2			○	
ドイツ歌曲研究1	○		○	○				2		○		
ドイツ歌曲研究2	○		○	○				2			○	
フランス歌曲研究1	○		○	○				2			○	
フランス歌曲研究2	○		○	○				2				○
日本歌曲研究1	○		○	○				2			○	
日本歌曲研究2	○		○	○				2				○
専門合唱1	○		○	○				4	○			
専門合唱2	○		○	○				4		○		
専門合唱3	○		○	○				4			○	
専門合唱4	○		○	○				4				○
合唱指導法(含指揮法)	○		○	○				2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ピアノ実技	○		○					1	○			
オペラ実習1	○		○	○				4			○	
オペラ実習2	○		○	○				4				○
アンサンブル実習Ⅰ	○		○	○				2		○		
アンサンブル実習Ⅱ	○		○	○				4			○	
アンサンブル実習Ⅲ	○		○	○				4				○
音声学	○	○			○			4	○			
アコースティックミュージカルスタディ1	○		○	○				2	○			
アコースティックミュージカルスタディ2	○		○	○				2		○		
アコースティックミュージカルスタディ3	○		○	○				2			○	
アコースティックミュージカルスタディ4	○		○	○				2				○
室内オペラスタディ1	○		○	○				2	○			
室内オペラスタディ2	○		○	○				2		○		
室内オペラスタディ3	○		○	○				2			○	
室内オペラスタディ4	○		○	○				2				○
コーラスアンサンブル実習1	○		○	○				2	○			
コーラスアンサンブル実習2	○		○	○				2		○		
コーラスアンサンブル実習3	○		○	○				2			○	
コーラスアンサンブル実習4	○		○	○				2				○
アンサンブルヴォイストレーニング1	○		○	○				2	○			
アンサンブルヴォイストレーニング2	○		○	○				2		○		
アンサンブルヴォイストレーニング3	○		○	○				2			○	
アンサンブルヴォイストレーニング4	○		○	○				2				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。
 - ・オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。
 - ・西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ジェンダー I		○			○			2	○			
ジェンダー II		○			○			2	○			
心理学 I		○			○			2	○			
心理学 II		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
シーンスタディⅠ	○		○	○		4			○			
シーンスタディⅡ	○		○	○		4				○		
シーンスタディⅢ	○		○	○		4					○	
シーンスタディⅣ	○		○	○		4						○
MSアンサンブル実習Ⅰ	○		○	○		2			○			
MSアンサンブル実習Ⅱ	○		○	○		2				○		
MSアンサンブル実習Ⅲ	○		○	○		2					○	
MSアンサンブル実習Ⅳ	○		○	○		2						○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
シアターダンス1-2	○		○	○				1	○			
シアターダンス2-2	○		○	○				1		○		
ヴォイストレーニング1	○		○					2	○			
ヴォイストレーニング2	○		○					2		○		
ヴォイストレーニング3	○		○					2			○	
ヴォイストレーニング4	○		○					2				○
英会話講座1	○	○			○			4	○			
英会話講座2	○	○			○			4		○		
ミュージカル概論	○	○			○			4	○			
舞台芸術概論	○	○			○			4		○		
演技論1	○	○		○				2			○	
演技論2	○	○		○				2			○	
演出論1	○	○		○				2			○	
演出論2	○	○		○				2			○	
舞台音楽論Ⅰ	○	○		○				2			○	
舞台音楽論Ⅱ	○	○		○				2			○	
伝統芸能実習1	○		○	○				1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
伝統芸能実習2	○		○	○				1		○		
戯曲論	○	○			○			4			○	
ワークショップリーダー養成講座1	○			○	○			2				○
ワークショップリーダー養成講座2	○			○	○			2				○
イングリッシュ シアトリカル リーディング	○		○		○			2		○		
オーディション実習	○		○	○				1			○	
ダンスパフォーマンス1-1	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-2	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-3	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-4	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス2-1	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-2	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-3	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-4	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス3-1	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス3-2	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス3-3	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス3-4	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス4-1	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-2	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-3	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-4	○		○	○				2				○
身体表現実習 1-1	○		○	○				2	○			
身体表現実習 1-2	○		○	○				2	○			
身体表現実習 2-1	○		○	○				2		○		
身体表現実習 2-2	○		○	○				2		○		
身体表現実習 3-1	○		○	○				2			○	
身体表現実習 3-2	○		○	○				2			○	
身体表現実習 4-1	○		○	○				2				○
身体表現実習 4-2	○		○	○				2				○
身体表現演習 1	○		○	○				1		○		
身体表現演習 2	○		○	○				1		○		
アクティング1	○		○	○				2	○			
アクティング2	○		○	○				2		○		
アクティング3	○		○	○				2			○	
アクティング4	○		○	○				2				○
ヴォーカルミュージック1	○		○	○				2	○			
ヴォーカルミュージック2	○		○	○				2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ヴォーカルミュージック3	○		○	○				2			○	
ヴォーカルミュージック4	○		○	○				2				○
スタッフワーク概論	○	○			○			2	○			
バレエ実習1-1	○		○	○				2	○			
バレエ実習1-2	○		○	○				2	○			
バレエ実習2-1	○		○	○				2		○		
バレエ実習2-2	○		○	○				2		○		
バレエ実習3-1	○		○	○				2			○	
バレエ実習3-2	○		○	○				2			○	
バレエ実習4-1	○		○	○				2				○
バレエ実習4-2	○		○	○				2				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。
 - ・ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台上で自己表現ができる。
 - ・ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ミュージカルコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
バレエ研究Ⅰ	○		○	○		6			○			
バレエ研究Ⅱ	○		○	○		6				○		
バレエ研究Ⅲ	○		○	○		6					○	
バレエ研究Ⅳ	○		○	○		6						○
邦楽ワークショップ2			○					2		○		
邦楽ワークショップ3			○					2			○	
邦楽ワークショップ4			○					2				○
日本伝統芸能研究1		○						4	○			
日本伝統芸能研究2		○						4		○		
日本伝統芸能研究3		○						4			○	
日本伝統芸能研究4		○						4				○
古典邦楽作品研究1		○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2		○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1		○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2		○			○			4		○		
邦楽サウンド論1		○			○			4	○			
邦楽サウンド論2		○			○			4		○		
シアターダンス1-2	○		○	○				1	○			
英会話講座1		○			○			4	○			
英会話講座2		○			○			4		○		
ダンスパフォーマンス1-1	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-2	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス2-1	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-2	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス3-1	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス3-2	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス4-1	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-2	○		○	○				2				○
身体表現実習1-1	○		○	○				2	○			
身体表現実習1-2	○		○	○				2	○			
身体表現実習1-3	○		○	○				2	○			
身体表現実習1-4	○		○	○				2	○			
身体表現実習1-5	○		○	○				2	○			
身体表現実習2-1	○		○	○				2		○		
身体表現実習2-2	○		○	○				2		○		
身体表現実習2-3	○		○	○				2		○		
身体表現実習2-4	○		○	○				2		○		
身体表現実習2-5	○		○	○				2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
身体表現実習 3-1	○		○	○				2			○	
身体表現実習 3-2	○		○	○				2			○	
身体表現実習 3-3	○		○	○				2			○	
身体表現実習 3-4	○		○	○				2			○	
身体表現実習 3-5	○		○	○				2			○	
身体表現実習 4-1	○		○	○				2				○
身体表現実習 4-2	○		○	○				2				○
身体表現実習 4-3	○		○	○				2				○
身体表現実習 4-4	○		○	○				2				○
身体表現実習 4-5	○		○	○				2				○
バレエ実習1-1	○		○	○				2	○			
バレエ実習1-2	○		○	○				2	○			
バレエ実習2-1	○		○	○				2		○		
バレエ実習2-2	○		○	○				2		○		
バレエ実習3-1	○		○	○				2			○	
バレエ実習3-2	○		○	○				2			○	
バレエ実習4-1	○		○	○				2				○
バレエ実習4-2	○		○	○				2				○
バレエ指導特別実習1	○		○	○				2	○			
バレエ指導特別実習2	○		○	○				2		○		
バレエ指導特別実習3	○		○	○				2			○	
バレエ指導特別実習4	○		○	○				2				○
邦楽実習(謡曲)1			○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2			○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3			○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4			○					2				○
邦楽実習(民謡)1			○					2	○			
邦楽実習(民謡)2			○					2		○		
邦楽実習(民謡)3			○					2			○	
邦楽実習(民謡)4			○					2				○
邦楽実習(笛)1			○					2	○			
邦楽実習(笛)2			○					2		○		
邦楽実習(笛)3			○					2			○	
邦楽実習(笛)4			○					2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座			○	○				2				○
即興演奏講座(初級)		○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)		○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1	○		○	○				1				○
応用演奏会実習4-2	○		○	○				1				○
応用演奏会実習4-3	○		○	○				1				○
応用演奏会実習4-4	○		○	○				1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法 I			○	○				2			○	
指揮法 II			○	○				2			○	
ソルフェージュ I		○			○			2	○			
ソルフェージュ II		○			○			2	○			
ソルフェージュ III		○			○			2		○		
ソルフェージュ IV		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究 I		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究 II		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学 I		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史	○	○			○			2	○			
ミュージカルⅠ－１		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ－２		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座１		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座２		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座３		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座４		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4				○
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史	○	○			○			2	○			
キャリアデザイン講座１		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座２		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語１－Ⅰ		○			○			2	○			
英語１－Ⅱ		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
英語2-I		○			○			2		○		
英語2-II		○			○			2		○		
独語1-I		○			○			2	○			
独語1-II		○			○			2	○			
独語2-I		○			○			2		○		
独語2-II		○			○			2		○		
仏語1-I		○			○			2	○			
仏語1-II		○			○			2	○			
仏語2-I		○			○			2		○		
仏語2-II		○			○			2		○		
伊語1-I		○			○			2	○			
伊語1-II		○			○			2	○			
伊語2-I		○			○			2		○		
伊語2-II		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学I		○			○			2	○			
経済学II		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーI		○			○			2	○			
ジェンダーII		○			○			2	○			
心理学I		○			○			2	○			
心理学II		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1	○	○			○			2	○			
舞踊史2	○	○			○			2	○			
舞踊史3	○	○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。
 - ・音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。
 - ・あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

バレエコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択 必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
舞踊史4	○	○			○			2	○			
運動生理学	○	○			○			2	○			
栄養学	○	○			○			2	○			
解剖学	○	○			○			2	○			
動作学	○	○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ASスタジオワーク	○		○	○		2			○			
音声表現演習Ⅰ－1	○	○		○			2			○		
音声表現演習Ⅰ－2	○	○		○			2			○		
音声表現演習Ⅱ－1	○	○		○			2				○	
音声表現演習Ⅱ－2	○	○		○			2				○	
音声表現演習Ⅲ－1	○	○		○			2					○
音声表現演習Ⅲ－2	○	○		○			2					○
ASアンサンブル実習Ⅰ	○		○	○		2			○			
ASアンサンブル実習Ⅱ	○		○	○		2				○		
ASアンサンブル実習Ⅲ	○		○	○		2					○	
ASアンサンブル実習Ⅳ	○		○	○		2						○
ヴォイスアーティスト技法研究Ⅰ	○	○		○		2			○			
ヴォイスアーティスト技法研究Ⅱ	○	○		○		2				○		
ヴォイスアーティスト技法研究Ⅲ	○	○		○		2					○	
ヴォイスアーティスト技法研究Ⅳ	○	○		○		2						○
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
シアターダンス1－1	○		○	○				1	○			
シアターダンス1－2	○		○	○				1	○			
舞台芸術概論	○	○			○			4		○		
演技論1	○	○		○				2			○	
演技論2	○	○		○				2			○	
演出論1	○	○		○				2			○	
演出論2	○	○		○				2			○	
伝統芸能実習1	○		○	○				1		○		
伝統芸能実習2	○		○	○				1		○		
ダンスパフォーマンス3－1	○		○	○				2			○	
身体表現演習1	○		○	○				1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
身体表現演習 2	○		○	○				1		○		
ヴォイスアーティスト基礎演習	○		○	○				2	○			
ヴォイスアーティスト演習1-1	○		○	○				2		○		
ヴォイスアーティスト演習1-2	○		○	○				2		○		
ヴォイスアーティスト演習1-3	○		○	○				2		○		
ヴォイスアーティスト演習1-4	○		○	○				2		○		
ヴォイスアーティスト演習2-1	○		○	○				2			○	
ヴォイスアーティスト演習2-2	○		○	○				2			○	
ヴォイスアーティスト演習2-3	○		○	○				2			○	
ヴォイスアーティスト演習2-4	○		○	○				2			○	
ヴォイスアーティスト演習3-1	○		○	○				2				○
ヴォイスアーティスト演習3-2	○		○	○				2				○
ヴォイスアーティスト演習3-3	○		○	○				2				○
ヴォイスアーティスト演習3-4	○		○	○				2				○
アニメソング総合演習1	○		○	○				2	○			
アニメソング総合演習2	○		○	○				2		○		
アニメソング総合演習3	○		○	○				2			○	
アニメソング総合演習4	○		○	○				2				○
コンテンツ制作1	○		○	○				4	○			
コンテンツ制作2	○		○	○				4		○		
コンテンツ制作3	○		○	○				4		○		
ASダンス演習1	○		○	○				2	○			
ASダンス演習2	○		○	○				2		○		
ASダンス演習3	○		○	○				2			○	
ASダンス演習4	○		○	○				2				○
AS身体表現実習	○		○	○				2		○		
ナレーション基礎演習	○		○	○				2	○			
ヴォイスアンサンブル1	○		○	○				2	○			
ヴォイスアンサンブル2	○		○	○				2		○		
ヴォイスアンサンブル3	○		○	○				2			○	
ヴォイスアンサンブル4	○		○	○				2				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ－１		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ－２		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座１		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座２		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座３		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座４		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4			○	
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座１		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座２		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。
 - ・音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

声優アニメソングコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択 必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
舞踊研究Ⅰ	○		○	○		6			○			
舞踊研究Ⅱ	○		○	○		6				○		
舞踊研究Ⅲ	○		○	○		6					○	
舞踊研究Ⅳ	○		○	○		6						○
邦楽ワークショップ2		○	○					2		○		
邦楽ワークショップ3		○	○					2			○	
邦楽ワークショップ4		○	○					2				○
日本伝統芸能研究1		○			○			4	○			
日本伝統芸能研究2		○			○			4		○		
日本伝統芸能研究3		○			○			4			○	
日本伝統芸能研究4		○			○			4				○
古典邦楽作品研究1		○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2		○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1		○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2		○			○			4		○		
邦楽サウンド論1		○			○			4	○			
邦楽サウンド論2		○			○			4		○		
シアターダンス1-1	○		○	○				1	○			
シアターダンス1-2	○		○	○				1	○			
英会話講座1		○			○			4	○			
英会話講座2		○			○			4		○		
舞台芸術概論	○				○			4		○		
演技論1		○		○	○			2			○	
演技論2		○		○	○			2			○	
演出論1		○		○	○			2			○	
演出論2		○		○	○			2			○	
伝統芸能実習1		○	○	○				1		○		
伝統芸能実習2		○	○	○				1		○		
ダンスパフォーマンス1-1	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-2	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-3	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス1-4	○		○	○				2	○			
ダンスパフォーマンス2-1	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-2	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-3	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス2-4	○		○	○				2		○		
ダンスパフォーマンス3-1	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス3-2	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス3-3	○		○	○				2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ダンスパフォーマンス3-4	○		○	○				2			○	
ダンスパフォーマンス4-1	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-2	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-3	○		○	○				2				○
ダンスパフォーマンス4-4	○		○	○				2				○
身体表現実習 1-1	○		○	○				2	○			
身体表現実習 1-2	○		○	○				2	○			
身体表現実習 2-1	○		○	○				2		○		
身体表現実習 2-2	○		○	○				2		○		
身体表現実習 3-1	○		○	○				2			○	
身体表現実習 3-2	○		○	○				2			○	
身体表現実習 4-1	○		○	○				2				○
身体表現実習 4-2	○		○	○				2				○
ヴォーカルミュージック1		○	○	○				2	○			
ヴォーカルミュージック2		○	○	○				2		○		
ヴォーカルミュージック3		○	○	○				2			○	
ヴォーカルミュージック4		○	○	○				2				○
バレエ実習1-1	○		○	○				2	○			
バレエ実習1-2	○		○	○				2	○			
バレエ実習2-1	○		○	○				2		○		
バレエ実習2-2	○		○	○				2		○		
バレエ実習3-1	○		○	○				2			○	
バレエ実習3-2	○		○	○				2			○	
バレエ実習4-1	○		○	○				2				○
バレエ実習4-2	○		○	○				2				○
コンテンツ制作1	○		○	○				4	○			
コンテンツ制作2	○		○	○				4		○		
コンテンツ制作3	○		○	○				4		○		
リズムトレーニング	○		○	○				2		○		
舞踊創作研究1-1	○		○	○				2	○			
舞踊創作研究1-2	○		○	○				2	○			
舞踊創作研究1-3	○		○	○				2	○			
舞踊創作研究1-4	○		○	○				2	○			
舞踊創作研究1-5	○		○	○				2	○			
舞踊創作研究2-1	○		○	○				2		○		
舞踊創作研究2-2	○		○	○				2		○		
舞踊創作研究2-3	○		○	○				2		○		
舞踊創作研究2-4	○		○	○				2		○		
舞踊創作研究2-5	○		○	○				2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
舞踊創作研究3-1	○		○	○				2			○	
舞踊創作研究3-2	○		○	○				2			○	
舞踊創作研究3-3	○		○	○				2			○	
舞踊創作研究3-4	○		○	○				2			○	
舞踊創作研究3-5	○		○	○				2			○	
舞踊創作研究4-1	○		○	○				2				○
舞踊創作研究4-2	○		○	○				2				○
舞踊創作研究4-3	○		○	○				2				○
舞踊創作研究4-4	○		○	○				2				○
舞踊創作研究4-5	○		○	○				2				○
邦楽実習(謡曲)1		○	○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2		○	○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3		○	○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4		○	○					2				○
邦楽実習(民謡)1		○	○					2	○			
邦楽実習(民謡)2		○	○					2		○		
邦楽実習(民謡)3		○	○					2			○	
邦楽実習(民謡)4		○	○					2				○
邦楽実習(笛)1		○	○					2	○			
邦楽実習(笛)2		○	○					2		○		
邦楽実習(笛)3		○	○					2			○	
邦楽実習(笛)4		○	○					2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史		○			○			4	○			
声楽(教職)		○	○	○				2	○			
学内リサイタル講座		○	○	○				2				○
即興演奏講座(初級)		○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)		○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4	○		○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4	○		○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3	○		○	○				1			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
応用演奏会実習3-4	○		○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1	○		○	○				1				○
応用演奏会実習4-2	○		○	○				1				○
応用演奏会実習4-3	○		○	○				1				○
応用演奏会実習4-4	○		○	○				1				○
教職ピアノ実習1-I		○	○					1	○			
教職ピアノ実習1-II		○	○					1	○			
教職ピアノ実習2		○	○					1		○		
教職ピアノ実習3		○	○					1		○		
教職ピアノ実習4		○	○					1			○	
教職ピアノ実習5		○	○					1			○	
教職ピアノ実習6		○	○					1				○
教職合奏指導法		○	○					2			○	
指揮法Ⅰ		○	○					2			○	
指揮法Ⅱ		○	○					2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2		○		
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○	○	○	○			4				○
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○			○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○			○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。
 - ・ダンス構成や創作過程を学び、振付家(コレオグラファー)としても幅広く活動することができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ダンスコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ワールドミュージック専門研究Ⅰ－A	○		○	○			6		○			
ワールドミュージック専門研究Ⅰ－B	○		○	○			3		○			
ワールドミュージック専門研究Ⅰ－C	○		○	○			3		○			
ワールドミュージック専門研究Ⅱ－A	○		○	○			6			○		
ワールドミュージック専門研究Ⅱ－B	○		○	○			3			○		
ワールドミュージック専門研究Ⅱ－C	○		○	○			3			○		
ワールドミュージック専門研究Ⅲ－A	○		○	○			6				○	
ワールドミュージック専門研究Ⅲ－B	○		○	○			3				○	
ワールドミュージック専門研究Ⅲ－C	○		○	○			3				○	
ワールドミュージック専門研究Ⅳ－A	○		○	○			6					○
ワールドミュージック専門研究Ⅳ－B	○		○	○			3					○
ワールドミュージック専門研究Ⅳ－C	○		○	○			3					○
管弦楽法	○	○			○			4			○	
楽曲分析研究Ⅰ	○	○			○			2			○	
楽曲分析研究Ⅱ	○	○			○			2			○	
浄書と音源の制作	○	○			○			4	○			
歌曲作曲研究Ⅰ	○	○			○			2	○			
歌曲作曲研究Ⅱ	○	○			○			2	○			
合唱曲作曲研究	○	○			○			2		○		
音階研究	○	○			○			2		○		
20世紀の和声法研究	○	○			○			2			○	
20世紀の奏法研究	○	○			○			2			○	
20世紀の作曲技法Ⅰ	○	○			○			2			○	
20世紀の作曲技法Ⅱ	○	○			○			2			○	
ジャズハーモニー1	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー2	○	○			○			2	○			
ジャズハーモニー3	○	○			○			2		○		
ジャズハーモニー4	○	○			○			2		○		
DAW演習Ⅰ	○		○					2	○			
ProTools 演習	○		○					2		○		
スタジオレコーディング演習1	○		○					2	○			
スタジオレコーディング演習2	○		○					2		○		
スタジオレコーディング演習3	○		○					2			○	
スタジオレコーディング演習4	○		○					2				○
サウンドエンジニアリング基礎理論	○	○			○			4	○			
音響空間エレクトロニクス1	○	○	○					4	○			
音響空間エレクトロニクス2	○	○	○					4		○		
音響空間エレクトロニクス3	○	○	○					4			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音響空間エレクトロニクス4	○	○	○					4				○
録音技術研究 1	○	○	○					2	○			
録音技術研究 2	○	○	○					2		○		
録音技術研究 3	○	○	○					2			○	
録音技術研究 4	○	○	○					2				○
テクノパフォーマンス研究 2	○		○	○				2		○		
テクノパフォーマンス研究 3	○		○	○				2			○	
テクノパフォーマンス研究 4	○		○	○				2				○
二重奏Ⅰ	○	○	○					2	○			
二重奏Ⅱ	○	○	○					2		○		
初見視奏Ⅰ	○	○	○					1	○			
初見視奏Ⅱ	○	○	○					1	○			
初見視奏Ⅲ	○	○	○					1		○		
初見視奏Ⅳ	○	○	○					1		○		
歌曲伴奏法Ⅰ	○	○	○					1	○			
歌曲伴奏法Ⅱ	○	○	○					1	○			
器楽曲伴奏法Ⅰー1	○	○	○					1	○			
器楽曲伴奏法Ⅰー2	○	○	○					1	○			
器楽曲伴奏法Ⅱー1	○	○	○					1		○		
器楽曲伴奏法Ⅱー2	○	○	○					1		○		
ピアノ音楽講座	○	○			○			4	○			
ピアノ音楽鑑賞研究	○	○			○			4	○			
リズムパフォーマンス	○	○	○					4	○			
管弦楽内ピアノ奏法研究1	○	○	○					2	○			
管弦楽内ピアノ奏法研究2	○	○	○					2		○		
管弦楽内ピアノ奏法研究3	○	○	○					2			○	
管弦楽内ピアノ奏法研究4	○	○	○					2				○
室内楽研究1	○		○	○				2	○			
室内楽研究2	○		○	○				2		○		
室内楽研究3	○		○	○				2			○	
室内楽研究4	○		○	○				2				○
オーケストラ演習1	○		○	○				2	○			
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究 2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
声楽基礎演習Ⅰ-1	○		○	○				2	○			
声楽基礎演習Ⅰ-2	○		○	○				2	○			
声楽基礎演習Ⅱ-1	○		○	○				2		○		
声楽基礎演習Ⅱ-2	○		○	○				2		○		
合唱指導法(含指揮法)	○		○	○				2		○		
音声学	○	○			○			4	○			
ミュージカル概論	○	○			○			4	○			
舞台芸術概論	○	○			○			4		○		
舞台音楽論Ⅰ	○	○		○				2			○	
舞台音楽論Ⅱ	○	○		○				2			○	
ワールドミュージック概論1	○	○			○			2	○			
ワールドミュージック概論2	○	○			○			2		○		
ワールドミュージック概論3	○	○			○			2			○	
ワールドミュージック概論4	○	○			○			2				○
ワールドミュージック演奏論1	○		○	○				2	○			
ワールドミュージック演奏論2	○		○	○				2		○		
ワールドミュージック演奏論3	○		○	○				2			○	
ワールドミュージック演奏論4	○		○	○				2				○
リコーダーアンサンブル1	○		○					2		○		
リコーダーアンサンブル2	○		○					2			○	
リコーダーアンサンブル3	○		○					2				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2		○		
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
卒業研究	○	○		○	○			4				○
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-Ⅰ		○			○			2	○			
英語1-Ⅱ		○			○			2	○			
英語2-Ⅰ		○			○			2		○		
英語2-Ⅱ		○			○			2		○		
独語1-Ⅰ		○			○			2	○			
独語1-Ⅱ		○			○			2	○			
独語2-Ⅰ		○			○			2		○		
独語2-Ⅱ		○			○			2		○		
仏語1-Ⅰ		○			○			2	○			
仏語1-Ⅱ		○			○			2	○			
仏語2-Ⅰ		○			○			2		○		
仏語2-Ⅱ		○			○			2		○		
伊語1-Ⅰ		○			○			2	○			
伊語1-Ⅱ		○			○			2	○			
伊語2-Ⅰ		○			○			2		○		
伊語2-Ⅱ		○			○			2		○		

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性、専門実技)
- ・奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。
 - ・各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。
 - ・世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

ワールドミュージックコース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽教育研究Ⅰ	○	○			○	4			○			
音楽教育研究Ⅱ	○	○			○	4				○		
音楽教育研究Ⅲ	○	○			○	4					○	
音楽教育研究Ⅳ	○	○			○	4						○
アートマネジメント研究1	○	○		○	○	4			○			
邦楽実習(民謡)1	○		○				2		○			
邦楽実習(謡曲)1	○		○				2		○			
邦楽実習(箏)1	○		○				2		○			
邦楽実習(笛)1	○		○				2		○			
作曲法・編曲法Ⅰ	○	○			○	2				○		
作曲法・編曲法Ⅱ	○	○			○	2				○		
言語表現演習Ⅰ	○		○			1			○			
言語表現演習Ⅱ	○		○			1			○			
身体表現演習Ⅰ	○		○			1				○		
身体表現演習Ⅱ	○		○			1				○		
声楽実習	○		○			2			○			
ピアノ実習	○		○			2			○			
浄書と音源の制作	○				○			4	○			
吹奏楽研究1	○		○	○				4	○			
邦楽ワークショップ2	○		○					2		○		
邦楽ワークショップ3	○		○					2			○	
邦楽ワークショップ4	○		○					2				○
日本伝統芸能研究1	○	○						4	○			
日本伝統芸能研究2	○	○						4		○		
日本伝統芸能研究3	○	○						4			○	
日本伝統芸能研究4	○	○						4				○
古典邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
古典邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究1	○	○			○			4		○		
現代邦楽作品研究2	○	○			○			4		○		
邦楽サウンド論1	○	○			○			4	○			
邦楽サウンド論2	○	○			○			4		○		
R&P・ヒストリー	○	○			○			4	○			
インストゥルメンツ研究	○	○			○			4		○		
ミュージック・ビジネス	○			○	○			4		○		
ミュージカル概論	○	○			○			4	○			
舞台芸術概論	○	○			○			4		○		
戯曲論	○	○			○			4			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ワークショップリーダー養成講座1	○			○	○			2				○
ワークショップリーダー養成講座2	○			○	○			2				○
合唱活動指導法1	○		○					2			○	
合唱活動指導法2	○		○					2				○
リコーダーアンサンブル1	○		○					2		○		
リコーダーアンサンブル2	○		○					2			○	
リコーダーアンサンブル3	○		○					2				○
邦楽実習(謡曲)1	○		○					2	○			
邦楽実習(謡曲)2	○		○					2		○		
邦楽実習(謡曲)3	○		○					2			○	
邦楽実習(謡曲)4	○		○					2				○
邦楽実習(民謡)1	○		○					2	○			
邦楽実習(民謡)2	○		○					2		○		
邦楽実習(民謡)3	○		○					2			○	
邦楽実習(民謡)4	○		○					2				○
邦楽実習(笛)1	○		○					2	○			
邦楽実習(笛)2	○		○					2		○		
邦楽実習(笛)3	○		○					2			○	
邦楽実習(笛)4	○		○					2				○
邦楽実習(箏)2	○		○					2		○		
邦楽実習(箏)3	○		○					2			○	
邦楽実習(箏)4	○		○					2				○
音楽実技実習1	○		○					2	○			
音楽実技実習2	○		○					2		○		
音楽実技実習3	○		○					2			○	
音楽実技実習4	○		○					2				○
即興伴奏法	○		○					2			○	
合唱実習 1	○		○					2	○			
合唱実習 2	○		○					2		○		
教育アンサンブル 1	○		○	○				2	○			
教育アンサンブル 2	○		○	○				2		○		
教育アンサンブル 3	○		○	○				2			○	
教育アンサンブル 4	○		○	○				2				○
音楽創作ワークショップ 1	○		○	○				2		○		
音楽創作ワークショップ 2	○		○	○				2			○	
音楽創作ワークショップ 3	○		○	○				2				○
アートマネジメント研究2	○	○		○	○			4		○		
アートマネジメント研究3	○	○		○	○			4			○	

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
アートマネジメント研究4	○	○		○	○			4				○
音楽科教育法Ⅰ	○			○	○			2	○			
音楽科教育法Ⅱ	○			○	○			2		○		
音楽科教育法Ⅲ	○			○	○			2			○	
音楽科教育法Ⅳ	○			○	○			2				○
演奏会実習1	○			○	○			2	○			
演奏会実習2	○			○	○			2		○		
演奏会実習3	○			○	○			2			○	
演奏会実習4	○			○	○			2				○
吹奏楽演奏理論1		○			○			4	○			
吹奏楽演奏理論2		○			○			4		○		
吹奏楽演奏理論3		○			○			4			○	
吹奏楽演奏理論4		○			○			4				○
音楽史	○	○			○			4	○			
声楽(教職)			○	○				2	○			
学内リサイタル講座	○		○	○				2				○
即興演奏講座(初級)	○	○		○				2	○			
即興演奏講座(中級)	○	○		○				2		○		
映像と音楽		○			○			4	○			
DTV演習		○			○			2	○			
DTP演習		○			○			2	○			
音楽と宗教		○			○			2	○			
楽器学		○			○			2	○			
ジャズの歴史1		○			○			2	○			
ジャズの歴史2		○			○			2	○			
ピアノ演奏史		○			○			4	○			
管弦楽史		○			○			2		○		
オペラ史		○			○			2		○		
楽式論Ⅰ		○			○			2		○		
楽式論Ⅱ		○			○			2		○		
音楽美学		○			○			2			○	
現代音楽		○			○			2	○			
幼児音楽指導法(含リトミック)		○			○			4		○		
日本の伝統芸能と音楽		○			○			4	○			
諸民族の音楽		○			○			2	○			
和声学研究		○			○			4			○	
管弦楽概論		○			○			4		○		
楽器と演奏論		○			○			4	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
音楽分析総合講座		○			○			4		○		
日本音楽史		○			○			2	○			
音楽学特殊講義1		○			○			2			○	
音楽学特殊講義2		○			○			2			○	
東洋音楽史		○			○			2	○			
音楽鑑賞論		○			○			4	○			
ギター奏法演習		○	○					2	○			
和楽器演習(箏)		○	○					2	○			
和楽器演習(三味線)		○	○					2	○			
尺八奏法		○	○					1			○	
篠笛奏法		○	○					1			○	
箏奏法		○	○					1			○	
三味線奏法		○	○					1			○	
DTM基礎演習		○	○					1	○			
DTMプログラミング演習		○	○					2	○			
ジャズ実習		○	○					1	○			
応用演奏会実習1-1			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-2			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-3			○	○				1	○			
応用演奏会実習1-4			○	○				1	○			
応用演奏会実習2-1			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-2			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-3			○	○				1		○		
応用演奏会実習2-4			○	○				1		○		
応用演奏会実習3-1			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-2			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-3			○	○				1			○	
応用演奏会実習3-4			○	○				1			○	
応用演奏会実習4-1			○	○				1				○
応用演奏会実習4-2			○	○				1				○
応用演奏会実習4-3			○	○				1				○
応用演奏会実習4-4			○	○				1				○
副科実技(グループ)1		○	○					1	○			
副科実技(グループ)2-1		○	○					1		○		
副科実技(グループ)2-2		○	○					1		○		
副科実技(グループ)3-1		○	○					1			○	
副科実技(グループ)3-2		○	○					1			○	
副科実技(グループ)4-1		○	○					1				○

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
副科実技(グループ)4-2		○	○					1				○
副科実技(個人)1		○	○					1	○			
副科実技(個人)2-1		○	○					1		○		
副科実技(個人)2-2		○	○					1		○		
副科実技(個人)3-1		○	○					1			○	
副科実技(個人)3-2		○	○					1			○	
副科実技(個人)4-1		○	○					1				○
副科実技(個人)4-2		○	○					1				○
教職ピアノ実習1-I			○	○				1	○			
教職ピアノ実習1-II			○	○				1	○			
教職ピアノ実習2			○	○				1		○		
教職ピアノ実習3			○	○				1		○		
教職ピアノ実習4			○	○				1			○	
教職ピアノ実習5			○	○				1			○	
教職ピアノ実習6			○	○				1				○
教職合奏指導法			○	○				2			○	
指揮法Ⅰ			○	○				2			○	
指揮法Ⅱ			○	○				2			○	
ソルフェージュⅠ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅡ		○			○			2	○			
ソルフェージュⅢ		○			○			2		○		
ソルフェージュⅣ		○			○			2		○		
ソルフェージュ研究Ⅰ		○			○			2			○	
ソルフェージュ研究Ⅱ		○			○			2			○	
音楽理論入門		○			○			2	○			
音楽分析基礎講座		○			○			2	○			
和声学Ⅰ		○			○			2	○			
和声学Ⅱ		○			○			2		○		
和声学Ⅲ		○			○			2		○		
和声学Ⅳ		○			○			2			○	
和声学Ⅴ		○			○			2			○	
作曲法・編曲法Ⅰ		○			○			2		○		
作曲法・編曲法Ⅱ		○			○			2		○		
対位法		○			○			4		○		
対位法研究		○			○			4			○	
古代、中世、ルネッサンスの音楽史		○			○			2	○			
バロックの音楽史		○			○			2	○			
古典派の音楽史		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
ロマン派、近・現代の音楽史		○			○			2	○			
ミュージカルⅠ-1		○	○					1	○			
ミュージカルⅠ-2		○	○					1	○			
記譜法基礎		○			○			2	○			
記譜法概論		○			○			4	○			
シンガーソングライター講座1		○		○				2	○			
シンガーソングライター講座2		○		○				2		○		
シンガーソングライター講座3		○		○				2			○	
シンガーソングライター講座4		○		○				2				○
日本の伝統的歌唱(民謡)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(謡曲)		○	○					1	○			
日本の伝統的歌唱(長唄)		○	○					1	○			
芸術史Ⅰ		○			○			2	○			
芸術史Ⅱ		○			○			2	○			
外国文学		○			○			2	○			
法学(日本国憲法)		○			○			2	○			
西洋文化史		○			○			2	○			
キャリアデザイン講座1		○		○	○			2		○		
キャリアデザイン講座2		○		○	○			2		○		
社会福祉論		○		○	○			2	○			
ビジネス講座(秘書検定対策)		○			○			2	○			
音響学Ⅰ		○			○			2	○			
音響学Ⅱ		○			○			2	○			
情報機器の操作		○			○			2		○		
英語1-I		○			○			2	○			
英語1-II		○			○			2	○			
英語2-I		○			○			2		○		
英語2-II		○			○			2		○		
独語1-I		○			○			2	○			
独語1-II		○			○			2	○			
独語2-I		○			○			2		○		
独語2-II		○			○			2		○		
仏語1-I		○			○			2	○			
仏語1-II		○			○			2	○			
仏語2-I		○			○			2		○		
仏語2-II		○			○			2		○		
伊語1-I		○			○			2	○			
伊語1-II		○			○			2	○			

2018カリキュラムマップ

- (1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)
- ・学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。
 - ・能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。
 - ・文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。
- (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)
- (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)
- (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・実践的態度)
- (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

音楽教育コース	ディプロマポリシー					必修/選択			履修開始年次			
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
伊語2-I		○			○			2		○		
伊語2-II		○			○			2		○		
保健体育		○			○			2	○			
体育実技(集中)		○	○					2	○			
経済学Ⅰ		○			○			2	○			
経済学Ⅱ		○			○			2	○			
著作権法		○			○			2	○			
ジェンダーⅠ		○			○			2	○			
ジェンダーⅡ		○			○			2	○			
心理学Ⅰ		○			○			2	○			
心理学Ⅱ		○			○			2	○			
読解力養成講座1		○			○			2	○			
読解力養成講座2		○			○			2	○			
文章力養成講座1		○			○			2	○			
文章力養成講座2		○			○			2	○			
分析力養成講座1		○			○			2	○			
分析力養成講座2		○			○			2	○			
ポピュラー芸術論		○			○			2	○			
テクノロジーと芸術		○			○			2	○			
芸術と社会		○			○			2	○			
音響工学芸術論		○			○			2	○			
プロデュース学		○		○	○			2	○			
アートマネジメント入門		○		○	○			2	○			
舞踊史1		○			○			2	○			
舞踊史2		○			○			2	○			
舞踊史3		○			○			2	○			
舞踊史4		○			○			2	○			
運動生理学		○			○			2	○			
栄養学		○			○			2	○			
解剖学		○			○			2	○			
動作学		○			○			2	○			